

さようなら、そしてありがとうございました

宇佐市役所・安心院支所旧庁舎

半世紀の歴史に幕

令和2年、市の新たなまちづくり拠点施設として宇佐市役所および安心院支所の新庁舎が開庁してから、はや1年。旧庁舎はその役目を終え、現在は解体工事が行われています。これまで半世紀にわたり、宇佐市の発展を見守ってきた旧庁舎に感謝し、その変遷を振り返ります。

宇佐市の記憶

昭和42年4月1日

宇佐町・駅川町・四日市町・長洲町が合併し、新たな宇佐市が誕生

駅川町役場を本庁とし、四日市支所・長洲支所・宇佐支所・大根川出張所・善光寺出張所・元重出張所・岩崎出張所として、宇佐市制がスタート

昭和45年3月

市役所庁舎の建設工事着工（本館・別館・議会棟）

昭和46年1月

宇佐市役所が竣工



平成2年

新別館と委員会棟を増設

平成8年

旧宇佐税務署庁舎を買い上げ、教育委員会棟とする

安心院町の記憶

昭和30年1月1日

安心院町深見村・津房村・佐田村・駅館村の一部が合併し、新たな安心院町が誕生
安心院町役場を本庁とし、深見支所・津房支所・佐田支所として、安心院町制がスタート



旧安心院町役場

昭和47年

町役場庁舎の建設工事着工

昭和49年5月

安心院町役場が竣工



安心院支所旧庁舎は、昭和49年に竣工し、今年で47年になる建物です。平成17年の市町合併以降も安心院地域のシンボルとして地域の方々に親しまれてきましたが、令和2年3月19日にその役目を終えました。



※竣工：工事が完了すること。





完成イメージ



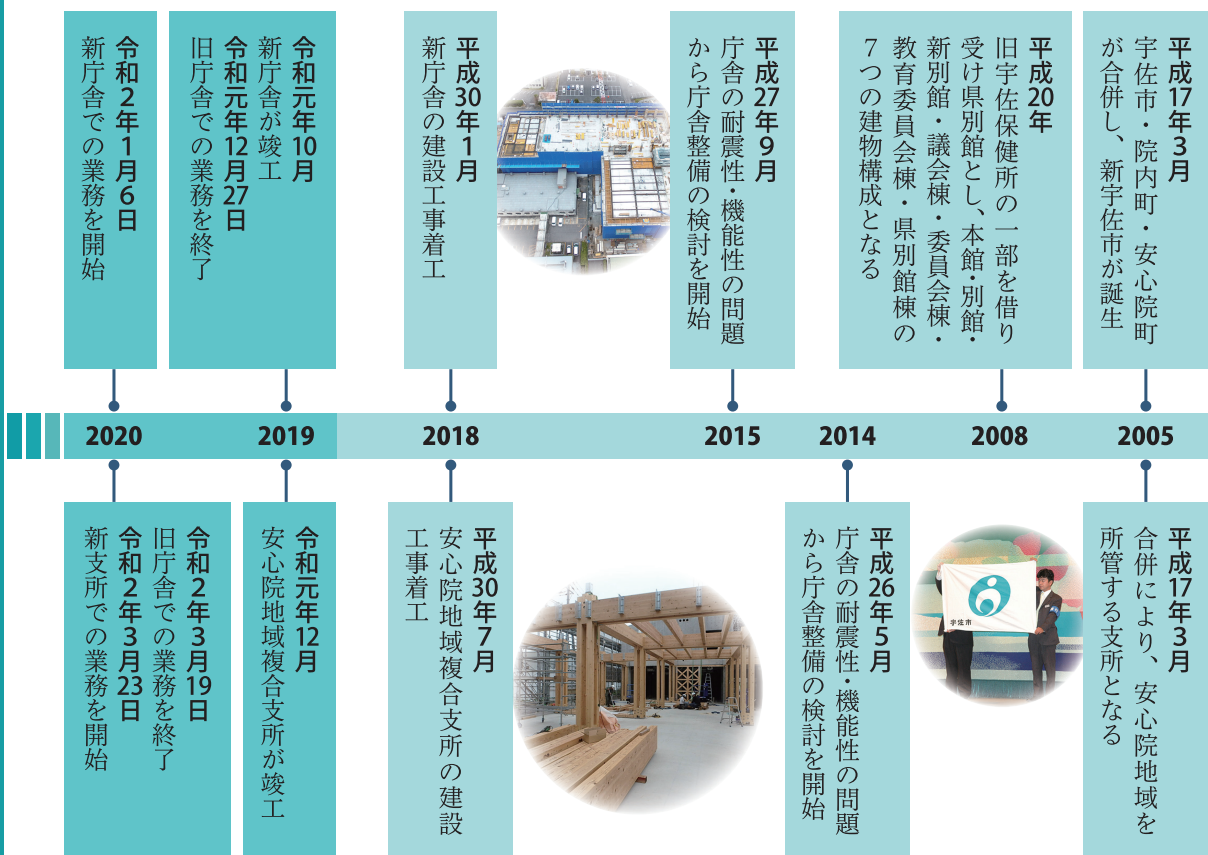
2021

旧庁舎解体工事：宇佐市役所・安心院支所ともに令和3年3月に完了予定
外構工事：宇佐市役所は令和3年10月に完了予定、安心院地域複合支所は令和4年1月に完了予定
【旧庁舎解体工事および外構工事に伴う駐車場のご案内を7ページに掲載しています】

定礎とは建物の基準となる礎の位置を定めることをさします。現在では竣工日に設置されることが多いですが、市役所の定礎は建設着工の1970年に設置されており、礎石裏には定礎箱が埋め込まれていました。



宇佐市役所旧庁舎の定礎



完成イメージ



安心院支所旧庁舎の定礎



定礎箱が開けられるのは、建物が解体される時です。タイムカプセルのようなもので、定礎箱の中には当時の広報や新聞、流通していた紙幣、建築図面、関係者名簿などが入っていました。